

HSK なんれん

臨時号
昭和48年1月13日

第三種郵便物認可
HSK通巻222号
1990年10月10日
毎月1回10日発行
1部100円

編集人 財団法人・北海道難病連銚路支部
発行人 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会

銚路支部版

NO・7

銚路支部関係の秋の行事

銚路市健康まつり

10月19・20日 於 オリエンタルホテル

銚路支部レクリエーション

10月28日 於 標茶町・茅沼温泉

パーキンソン病・医療講演会・相談会

11月4日 於 銚路市身体障害者福祉センター

パージャー病・道東支部結成大会

11月25日 於 銚路市福祉会館

皆様の参加をお待ちしております

【目次】

- | | | | |
|---------------|---|---------------|---|
| ・支部役員会終わる | 1 | 各部会より | |
| ・『なんでも』相談へ | | ・『手芸の集い』を実施して | 4 |
| 是非どうぞ | 3 | ・肝ガン検診終わる | 5 |
| ・銚路支部レクリエーション | 3 | ・腎キャンペーン終わる | 5 |
| ・第55回・理事会報告 | 6 | ・シーグレース乗船記 | 5 |

支部役員会終わる

◆役員会討議事項

十月六日・支部役員会を開催し、次の事項を協議し、決定された。

一、釧路市健康まつりへの参加

①保健所の保健婦さんに協力要請をする。

②難病連釧路支部からの参加体制

・十九日・石井 彰・鈴木 裕子

・橋本 秀子・小栗 恒穂

・渡部小夜子・田名部章子

・諸橋 国明

・二十日・上田 弘・鈴木 裕子

・橋本 秀子・小栗 恒穂

・渡部小夜子・田名部章子

・諸橋 国明

③難病連釧路支部としてのPR

・「なんれん」釧路支部版を発行して患者さんにPRする。

・「なんでも」相談出来るような呼掛けとすること。

④当日の対応

・難病連をPRする配布物を用意する。

（説明書・協力会入会趣意書など）

・JPCの街頭署名をこの日に変えて実施する。

二、釧路支部機関誌の発行

①原稿依頼をしているが、到着したのはリウマチ部会の一件だけである。

②釧路支部の事業計画では八月の発行となっていたが、十月号として発行する。

三、JPCの署名活動

①支部に署名用紙が到着している。

②全国一斉の街頭署名は十月十日に行われた。

③昨年の街頭署名は、腎臓提供

パーキンソン病の医療講演会・相談会実施

テーマ・パーキンソン病の治療と日常生活

日時・11月4日(日)

受付開始・12時30分

開 会・13時00分

会 場・釧路市川北4-17

釧路市身体障害者福祉センター

電話・25・2012

24・7471

内 容・パーキンソン病の正しい知識の啓蒙と療養生活についての指導と援助を行う
個別相談にも応じます

受講料・無 料 (どなたでも受講できます)

講 師・札幌・北祐会神経内科病院
院長 浜田 毅 先生

助言者・釧路労災病院・神経内科
諸方 昭彦 先生
本間 早苗 先生

ソーシャルワーカー
札幌北祐会神経内科病院
出井 聡 先生

主 催・全国パーキンソン病
北海道支部

共 催・北海道難病連・釧路支部

援 援・北海道立・釧路保健所

キャンペーンに併せて実施されていた。

などの状況から、JPCの街頭署名行動は十月十九・二十日の健康まつりに実施する。

役員会参加部会で署名用紙を持ち帰り、部会内での署名協力をお願いする。

釧路支部としては、第一回の集約を十月末とする。

署名等の実績(支部・部会の扱い)は、実施した人の自主的判断にまかせる。健康まつりの当日は募金箱も用意する。

四、釧路支部レクリエーション

二五名以上になれば、温泉のバスが送迎してくれる。

雨天決行・途中でのバス乗車は認めない。

・自家用車二台を随行させる。
・申し込み方法

・膠原病・肝炎・リウマチ・腎友会については、部会で参加集約する。

・その他の会員については、事務局の留守番電話で対応する。

・景品を用意してのゲームを計画する。

五、パーキンソン病の医療講演会

・相談会も含め下記のとおり実施する。

開催日時：平成二十二年十一月四日(日)
午後 十三時～一六時

開催場所

釧路市身体障害者福祉センター

釧路市川北町四一十七

電話 二五・二〇一二

二四・七四七一

講師：北祐会・神経内科病院
院長 浜田 毅 先生

日程：受付開始 一二時三〇分
開 会 一三時〇〇分

講演終了 一五時〇〇分

相談会 一五時一五分

終 了 一六時〇〇分

・PRは、管内町村(十市町村)の広報誌・北海道新聞・釧路新聞・各放送局に協力要請する。

六、パーキナー病の道東支部結成

かねてより準備を進めてきたパーキナー病の道東支部が、九月一・二日の第一回設立世話人会において、次のとおり結成されることに決定された。

・釧路・根室支庁を包括した組織となる。

・結成当初は経費が多くかかるので、釧路支部では地域部会援助費で二万円を

助成する。

・結成当日は、釧路支部役員並びに会員

パーキナー病 道東支部結成大会

釧路・根室地方のパーキナー病で悩んでいる人達が、お互いの経験交流と病気に
対する正しい知識の習得、並びに問題点の解消をはかりながら、親睦を含めた行
事を行う道東の支部を設立します。

日 時 11月25日(日) 問合先

13時より

釧路市新川町17-613

場 所 釧路市幸町9-1

石井 彰

釧路市福祉会館 2階 音楽室

電話 25・3289

電話 23・6471

阿寒町17線32

当日の参加費は無料です。

炭野 信好

どなたでも参加できます

電話 66・2351

の参加協力をお願いする。

支部発足日時

十一月二十五日 一三時より

大会実施場所

釧路市福祉会館・二階・音楽室

主催者名

北海道バージャー病友の会

北海道バージャー病友の会・道東支

部設立世話人会

当日は、道東支部の活動のすすめ方な

どを協議する。

道東支部規約並びに役員体制を決定す

る。

『なんでも相談』へ

是非どうぞ

釧路市健康まつり

日時・10月19日
10時～16時30分

10月20日
9時～15時30分

場所・オリエンタルホテル
新館

内容・体力測定
寝たきり老人介護教室
ヘルシー栄養相談
ヘルシー相談

難病相談

楽しみませんか・秋の味覚

健康クイズにアタック

学校給食展示

学校給食で舌つづみ

薬のパネル展と相談

医療機器展

腎バンク登録受付

がんパネル展

健康パネル展

福祉施設の手づくり品展示

なんでも相談
気軽に相談

あなたの参加を
お待ちしております

釧路支部

レクリエーション

十月二八日に実施

今年度のレクリエーションを、別表のとおり実施します。

普段、顔を合わせる事のない患者さん同志、温泉につきりながら経験交流をはかりませんか。

支部会員多勢の、参加をお待ちしております。

十月十九・二十日の二日間、オリエンタルホテル新館において、釧路市の市民健康フェスティバルが別表のとおり行われます。

なお、この催しには、難病連釧路支部も難病相談という名目で「なんでも相談」として、どんな事でも相談を受け付ける事にし、相談内容によりアドバイザーを紹介する方式で参加します。

また、釧路保健所の保健婦さんの協力いただくよう要請していきます。

月日・10月28日(日)
行き先・茅沼・いこいの家
行会費・個人負担

大人・1500円
小人・1000円
(小学生以上)

出発時間・10時00分

帰釧時間・15時00分

集合時間・9時50分

集合場所・市民文化会館

裏駐車場

のりもの・茅沼温泉のバス利用
(25名以上の場合)

申込期限・10月20日

参加申込・二つの方法で受け付ける

・部会で集約する会
次の部会の方は、各部会の役員
さんに申し込んで下さい。

膠原病部会
肝炎部会
リウマチ部会
釧路地方腎友会

留守番電話で受け付ける。
上記部会以外の方は、支部事
務所の留守番電話に申し込ん
で下さい。

なお、上記部会の方でも利用
して結構です。

番号 **25-2012** です

雨天決行です。

景品付
ゲームあり

10月20日迄
申し込みを

リウマチ部会

『手芸の集い』 を実施して

日本リウマチ友の会
釧路ひまわり会

岩崎 洋子

釧路リウマチ友の会では、五月・六月
の二回、手芸講習を実施致しました。

リハビリをかねての活動でしたが、
一回目は、小林様の指導のもとに、和紙
のテッシュ入りの箱を作りましたが、ハ
サミがうまく使えない人でも、時間をか
けて一生懸命頑張っている姿は、他の会
に無い感動を覚えるものでした。出来上
がった作品を手に、喜びの歓声を上げら
れた光景は、今でも思い出されて参りま
す。

二回目は、私が毛糸のカバーの編み方
を指導しました。指に変形のある方、手
首の痛い人も、一針一針、編まれました。
家の中にとじこもりがちなの私達ですが、
このように、患者どうしで楽しみを分か
ち合い、痛みを忘れて一日、笑いの中に
過ごしました。
私達、リウマチの患者は、薬のみにた
よらず、日常生活に注意し、リハビリ
は受身で行うのではなく、積極的に取り
組むことが、より効果を生むことであり、
大切だと云うことが訳かりました。
前向きにリウマチの治療をし、少しで
も明るい生活をするよう、努力していき
たいと思います。

ウイルス肝炎部会

肝ガン検診終わる

受診者累計一万人突破

北海道肝炎友の会
釧路地方支部
小栗恒穂

北海道肝炎友の会・釧路地方支部の肝ガン集団検診が、九月八日・別海町、九月九日・釧路市で行われました。札幌医大教授の福田守道先生を団長とする、肝臓病専門医・美馬先生（勤医協札幌中央病院）ほか五十人の検診団により、超音波腹部検査・血液検査・医療相談が行われました。

この検診は、肝ガンを含む肝臓病の早期発見・早期治療を目的としております。今回は釧路市・別海町の二ヶ所で二八〇名位が受診され、釧路の検診では、全道の検診者数が一万人に突破するという事で、各テレビ局・報道関係者の取材があり、受診していた皆さんは、緊張していました。

ラッキーにも一万人目の方は、釧路市

大川町の小林チエ子（友の会員）さんに当り、小林さんは大喜び、これからも「肝臓病にまけず頑張ります」と話していました。

来年も肝ガン検診を実施する予定をしております。肝臓病を心配されている方は、ぜひ来年は受診してみてください。

釧路地方腎友会

腎キヤンペーン終わる

釧路地方腎友会では、十月七日に全国一斉の腎臓提供キヤンペーンを実施しました。

この活動は、昭和五六年から行われていますが、当初は、患者会（全腎協・腎会）単独の行事でありました。しかし、昭和六一年から厚生省の腎移植推進月間にあわせて実施するようになりました。

今年度は次の三つを目標として、キヤンペーンに取り組みました。

- ①啓蒙活動だけでなく、実質的なバンク登録を目指す。
- ②関係団体と協力して進める。
- ③家族登録を進める。

なお当日は天候にも恵まれ、会員・家族の二十一名が参加し、道行く市民に腎臓提供の協力をお願いしました。

シーグレース

乗船記

奈良 達也（四五才）

市立釧路総合病院・透析歴五ヶ月

九月二日「日曜日」、我ら市立病院グループは、佐藤信洋幹事が絶対の自信を持って企画立案した、遊覧船「シーグレース」による霧多布周遊レクに集合した。

まず最初のハブニングはコースの変更であった。当日は高波のため西港周遊となり、従って時間も予定の半分、二時間に短縮となったのである。グループの中には賛否両論であったが、私は正直言ってホッとしたり。もともと霧多布であろうが西港であろうが、ただの船である。短いに越した事はないというのが私の本音であった。

さて間もなく出航した船は、穏やかに我ら運び、船内もまたなごやかな一瞬

第五五回・理事会報告

九月三十日、難病センターにて第五回（通算第一三一回）の理事会が開かれました。その時の協議事項などを簡単に報告します。

一 一九九〇年度 道・札幌市・全道市町村への統一要望事項について。

① 昨年度要望事項の再検討を行い、次の項目を追加・修正する。

・障害年金支給停止後、三年失権制度の廃止を固に要望する。
・特定疾患認定証の取り扱い普及について道に要望する。

特に、身障一・二級、生保該当者の登録推進。

・パーキンソン病・後縦靭帯骨化症などの疾患で、対象の境界にいる患者について、不公平とならないように診断書の取り扱いの配慮を医師に求めるよう周知すること。

・障害年金三級（厚生年金）及び、障害基礎年金二級受給者で、症状安定者について診断書の取り扱いの配慮を求めるよう医師会に求める。

・血友病友の会の要望事項を整理する。
・小鳩会要望事項に、高等養護学校の充実を入れる。

・リウマチ友の会のバス乗降ステップ等の要望を取り入れる。
・人工肛門・膀胱部会の社会適応訓練事業について取り入れる。
・低肺の実態調査の要望をする。

・他の部会要望は、個別要望として添付する。

・全道市町村の要望は昨年度同様とするが、各市町村で要望があれば個別対応とする。

二 一九九一年度 対道要望予算について（一般会計）

来年度の要望予算について、特に考慮を要する事項は、次のとおりです。

◆収入関係

・新加入団体分の部会配分補助金を増額要望する。
・福祉機器事業会計の繰越益金を、基本

であった。しかし、それはつかの間の安らぎでもあった。突然、船は激しくローリングを始め、船内の我らはもちろん、他の客も含め騒然となった。前方を見ていた私は、テレビの場面で見事のあるような船首がグリーンと下がっていくありさまに恐怖を覚え、それを他人に悟られないよう、落ち着いた素振りの見栄をはる事に務めた。その時、一緒に連れて行った小学五年生の息子が前席から振り返り「パパこの船、本当に大丈夫なの？」と聞かれた私は無言で、ただうなずくのが勢一杯であった。佐藤幹事は既にその役務を自ら放棄していた。日頃は佐藤氏のリーダーシップに心から敬服しているが、いかんせん肉体の弱さにはさすがの佐藤氏もどうしようもなく、これもまた私は心から同情する。

そんな訳で、洋上のロマンを求めたいメージは散々たる結末を迎えたが、それはそれ、我らもあの「シーグレース」の様にこれからの波乱万丈の人生を雄々乗り切つて行かなければならないという事を教えられた。私だけかも知れないけれど、素晴らしレクだったと思つていきますので、佐藤さん今後よろしく。

- ・財産へ繰入れ、利息の増加を行う。
- ・事務局人件費補助の自然増が見込まれる。
- ・募金箱・協力会の取り組み強化を要望する。

◆支出関係

- ・部会への配分方法を、理事会で徹底的に協議する。
- ・支部運営費の増額をはかる。
- ・二十周年の積み立てをする。
- ・しおり・ポスターの発行年である。
- ・会議費・ボランティア育成費の増額が必要である。

- ・全道集会の地方開催年である。
- ・車両の整理・第二電々の導入をする。
- ・事務局員の手当類で増額となる。
- ・事務局員の定年退職（五〇才）が予定されている。
- ・実態調査報告書の印刷・販売を行う。

三）十勝支部事務所の開設について

次のとおり、十勝支部の事務所が開設される予定です。

- ・福祉機器事業帯広営業所と併設とする。
- ・フランズベットメディカル社のショールームの管理を担当する。
- ・モデル的事業として取り組む。

- ・開設場所・帯広市西五条南一三丁目
- ・開設月日・一九九〇年一月八日
- ・開設面積・一三・五坪

四）北海道筋ジストロフィー協会の脱退について

・同会に対する対応について決定が長引いている。同会の復帰を願う立場で、文書による当面する事務手続きを行い、方向を決定することとした。

五）事業会計の債権整理について

六）道内地域患者会活動の動向と課題、方針について

七）全道集会の総括・評価

- ・参加者総数・四三七名（V〇含む）
- ・過去最大の参加者（札幌開催）

八）一九九一年の全道集会開催

来年の全道集会是地方開催年であり、理事会でも過去何回か討論を行ったが、九月十三日付で室蘭支部から「支部一丸となって取り組む」旨の文書要望があり、次のとおり開催場所が決定されました。

- ・開催予定日・一九九一年七月二八日
- ・集會会場・洞爺湖文化センター
- ・宿泊予定数・四〇〇名程度
- ・参加費用・大人・一五、〇〇〇円
小人・七、〇〇〇円
- ・交通費は不要

九）JPCの国会請願署名

- ・十月十日に全国一斉街頭署名実施。
- ・釧路支部では、十九・二十日の「健康まつり」の時に実施する。
- ・取扱期日は二月末とする。

十）JPC全国交流集会の参加

- ・各部会・支部からの参加希望者がいなく、今回は事務局研修を兼ねて参加する。
- ・月日・十一月十七・十八日
- ・場所・神戸市 しあわせの村

十一）支部長交替の承認

・北見支部で山田精一氏から藤井英俊氏に交替した。

みんなの難病センターです

このようにご利用いただけます

一般の方もご利用下さい

相談室—医療・福祉制度・年金・福祉機器・法律などの相談とアドバイス。電話・手紙・ご来所、いつでもどうぞ。

(毎週月曜日～金曜日/午前10時～午後5時)

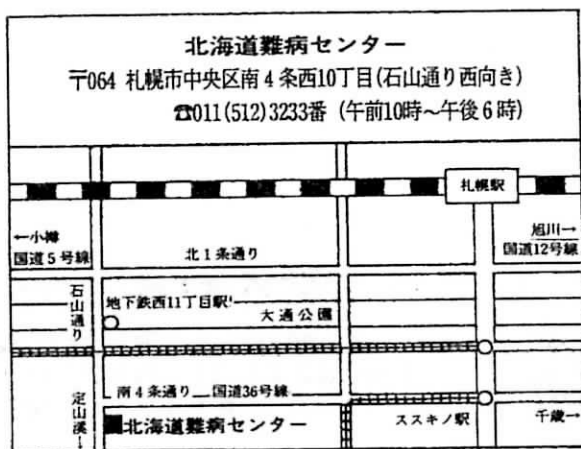
会議室—患者会・障害者団体などの会議・講演会・研修会などどうぞ。ビデオ、スライド、OHP、映写機、録音機など、各種設備を用意してあります。

宿泊室—入院待ち、通院、お見舞いなど、患者・ご家族の方々や患者会などの会合、研修会などにご利用いただけます。
定員16人/和室(4)・洋室(1)

安全設備—あらゆる事態に備え、万全の設備を備えています。安心してご利用下さい。

その他—福祉機器の展示、相談、患者会活動のための印刷設備などご利用いただけます。

閉館日—1月7日から12月27日まで(臨時休館日があります)。
利用時間は午前9時～午後9時(会議室)





財団法人——北海道

難病連

HSK なんねん

編集人

財団法人・北海道難病連釧路支部

釧路市川北4-17 身障センター内

TEL 0154-25-2012

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可

1990年10月10日発行 HSK通巻216号

毎月1回10日発行 1部100円

発行人

北海道身体障害者団体定期刊行物協会

神原 義郎 札幌市北区北13条西1丁目
